

車内熱中症に注意！子どもやペットを残したままのキー閉じこみ 昨年の8月は1カ月で87件！

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 坂口正芳）はお盆期間直前である8月4日（金）に昨年の8月1カ月間に出動した“子どもやペットを車内に残したままのキー閉じこみ”の件数を公表し、車内熱中症事故予防を呼びかけています。

■昨年の8月、子どもやペットを残したキー閉じこみは87件。3件はドアガラスを割って救援

2022年8月1日～8月31日の1カ月間、JAFが出動した「キー閉じこみ」の救援のうち、子どもやペットが車内に残されたままであったケースは全国で87件（子ども：51、ペット：36）ありました。このうち、緊急性が高いと判断し、通常の開錠作業ではなくドアガラスを割るなどしたケースが3件ありました。

現場での聞き取り調査によるとその原因の中には「子どもに鍵を持たせていたら、ロックボタンを押してしまった」「ペット（犬）が誤って運転席ドアのロックボタンを踏んでしまった。」というものもありました。

JAFが実施した車内温度の検証テストによると、気温35℃の炎天下に駐車した車内の暑さ指数は、窓を閉め切った状態でエンジン停止後、わずか15分で人体にとって危険なレベルに達しました。また、車を日陰に駐車していたとしてもその車内温度の差はわずか約7度で、駐車場所に関わらず外気温が高温である場合は注意が必要です。



■子どもやペットだけでなく大人も要注意。車内熱中症回避のために行動を。

乳幼児は体温調節機能が未発達であり、特に注意が必要です。「少しの時間だから」「寝ているから」等の理由で車内に子どもを残したまま車を離れることは、「キー閉じこみ」のトラブルとなくとも、熱中症を引き起こす事故になりかねません。子どもやペットを車内に残してぜったいに離れないでください。

また、2021年にJAF公式SNSアカウントで実施したキャンペーン「あなたの熱中症を教えてください！」では「クルマで家族を迎えに行き待っているあいだ、エアコンを切っていたら熱中症になりかけた」という大人の車内熱中症に関するコメントもありました。車内熱中症というと子どもやペットの事故がよく報道されますが、大人であっても車内熱中症に陥る危険性は十分にあります。暑いと感じられる際は無理をせず熱中症回避のため行動しましょう。

参考：JAFユーザーテスト

▼車内温度/夏

資料編：<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/car-learning/user-test/temperature/summer>

動画編：<https://www.youtube.com/watch?v=27Ej-ZUWvUU>

▼「日なた」と「日陰」の車内温度

<https://www.youtube.com/watch?v=0KiUCm-1B6k>

一般社団法人 日本自動車連盟 広報課

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912 Mail : koho@o3.jaf.or.jp URL : <https://jaf.or.jp/>
 〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館